

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所は理念を定期的に検討、見直しを行い介護理念を掲げている。また、職員は地域密着型サービスの意義をよく理解しており、勉強会等で共有し実践に繋げるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入し、近隣地域との交流に努め、相互関係の構築を図っている。介護相談窓口を設け認知症への理解や支援方法を助言及び地域包括へ繋げる役割を担っている。	コロナ前より地域事業参加は減っています。ただし地域相談窓口への相談は近隣の方から増えています。内容によっては地域包括支援センターを紹介しています。		第20回在宅医療実践の為の多職種協働研修会参加。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議への理解が構築され全ての家族、自治会、民生員、包括の協力の下事業所の取り組みや情報交換にて率直な意見が聞かれ今後のサービスに繋げている。	運営推進会議を活用した外部評価は利用者の家族や地域の方が評価する為、施設の取り組みを詳しく知る機会となり良かった。運営推進会議時に家族と共に研修を受講できる機会は大変良かった。		「グループホームにおける訪問看護について」訪問看護ステーションによる講演会実施（施設開催）
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村主催の研修や講演会等に参加し直面する問題にいち早く取り入れられている。情報交換としての協力関係も構築でき機敏な対応が出来ている。	協力して連携が取れていると思う。		令和5年度自立支援ケアマネジメント推進事業第二回在宅医療・介護・多職種連携協働に関する研修会参加。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を設け全職員が身体拘束による弊害について理解に努め、「身体拘束につながりやすい利用者情報を把握するための資料」を作成し拘束しないケアに取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年3月16日 高齢者虐待防止、身体拘束廃止に向けての研修会参加。令和5年9月27日 身体拘束の適正化について勉強会実施。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は勉強会等で「高齢者虐待防止法」を学び施設の理念・指針を示し徹底した防止に務め、万が一発見することがあれば速やかに医療連携を図り対応すると記されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年3月16日 高齢者虐待防止、身体拘束廃止に向けての研修会参加。令和5年9月21日 施設従事者向け高齢者虐待防止研修参加。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度や権利擁護について研修や勉強会を通して学び実践に繋がっている。また、相談窓口を設け個別相談や関係機関への橋渡しを行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前、施設見学及び説明会に時間を十分かけ家族からの質問に答えるようにしている。契約時には再度不安や問題点を納得して頂いたうえで、また途中解除では家族が不安や疑問を抱えていないか充分配慮している。			

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は日頃から話しやすい環境、関係づくりを心掛け意見箱や相談窓口を設けている。また、運営推進会議時は率直な意見を聞くことができ今後の施設運営に反映することができる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営協議会でもご家族のお話を良く聞かれています。と思います。 (包括回答)
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は施設運営に関し職員からの意見や提案をいつでも聞けるようにし、要望等については申し送りや職員会議で協議・検討し応じて案を反映させている。(年2回職員個人面談を実施)			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は日々の職員の努力や実績、勤務姿勢を管理者より知る機会を設け給与・労働時間・やりがい等を考慮し各人が向上心を持って働けるよう努めている。また、職員が働きやすい環境や条件について改善に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年3月24日 ハラスメントについて勉強会。 令和5年5月26日 労働災害について勉強会。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は管理者及び職員に対し、個々の段階に応じて研修を希望にて受講できるように支援し、常に向上心が持てるように働きかけている。研修内容はすべての職員が周知し協力体制が確立している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年7月31日 応急手当web研修(全職員) 2023年度応急手当普及員2名取得。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム協議会の一員としてブロック研修会はもとより他事業所との勉強会や交流会・相談、意見交換を行い生活支援・医療・介護・予防の観点からサービスの質の向上への取り組みを行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分らしく暮らす為に場面の中で「介護する、される」という関係から共に支え合い、労をねぎらい、言葉を掛け合いながら寄り添うことで信頼関係を作り上げていく。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の大切にしてきた人間関係や社会環境を把握し考慮しながら継続できるよう支援している。このコロナ禍ではオンライン面会、行事・バス旅行などLINEメッセージや動画にて発信している。	LINEで動画が送られてくるのが楽しみで、施設でどのように過ごしているのかが分かり安心しました。窓越しやビデオ通話での面会よりも、表情豊かな場面があり今後も続けて欲しい。		

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式によるアセスメントや家族・利用者本人に聞き取りを行い可能な限り一人ひとりの思いや意向の把握に務めている。確認が困難場合は利用者本人の視点に立って検討している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式の記録やカンファレンス等で各担当者の気づきや意見、アイデアを把握し現状に即した介護計画を作成している。本人・家族の満足度や効果等、短期目標に沿って評価したモニタリングに基づき介護計画の見直しをしている。	各入居者のセンター方式記録を確認して頂く。こんなに詳しくみられていて感心します。これからも宜しくお願いします、	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を活用し、ケアマネを中心にD-1、D-2は担当入居者のへ変化を半年毎に更新している。また、ケアプランに沿った支援を実施し、状態変化時は家族カンファレンス後プランの見直しを行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式のDシートに記入された日々の個人記録から、職員間で気づきを共有し、ケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの要望があれば必要に応じて話し合いニーズに合わせた支援方法を模索し柔軟に対応している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全な暮らしの実現から、警察・消防・医師等による講演や研修の機会、近隣施設や移動図書を利用し教養・娯楽に親しみ、福祉バスやボランティアでの豊かな暮らしが実現できるよう支援している。	バス旅行に連れて行って下さるのは、とても大変な事と思いますが家族としては、有難く感謝しています。こんなに笑うんだ、こんな事出来たんだ、と施設で楽しく過ごしている姿が見れうれしいです。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医の継続的支援を受けながら自室で各科の医師による適切な医療を行っている。急変時や検査が必要な時は家族及び職員が受診支援を行い医療連携を図り適切な協力体制ができている。主治医・訪看は24時間の連絡体制を取っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院する際、医療機関に施設生活の状況や介護保険情報など「医療と介護の連携シート」を使用して伝えている。退院まで病院と連絡を取り合い、情報を共有できるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の方針を共有し、本人・家族の望む暮らしが最期まで行えるように看取り介護計画書を作成している。意向の確認を行いながら内容を見直し、チームケアで取り組める計画を作成できるよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変及び事故発生時のマニュアルを設け定期的勉強会にて把握している。自施設のみならず地域資源を活用し外部研修や訓練参加にて実際の場面で活かせるように実践力を培っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ㉢. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の災害対策講演会や訓練等に参加し施設の災害対策に活用している。夜間想定訓練やマットレスごと移動避難する訓練を実施したり、隣接マンションとの協定や駐車場の確保など地域との協力体制づくりに取り組んでいる。	「夜間想定の人員問題」「実際避難した場合の避難先での介護者の人員確保」について家族の支援が必要な場合はお願いしたいこと伝える。家族からの返答は、「ここは大丈夫な場所だから避難する方が危ない場合もあるので」という声が上がった。	A. 充分にできている ㉢. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ㉢. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会で入居者の誇りやプライバシーを損ねないケアについて話し合い実践に努めている。また、個人情報保護法の周知を徹底し適切に実施されているか職員間で話し合う場面を設けている。		A. 充分にできている ㉢. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内を見てもよく考えられていると思います。(包括回答)
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側の都合で業務を遂行するのではなく入居者自ら希望や行動を尊重し、暮らしの中で自信を取り戻し自分の持てる力を発揮できるような支援をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事食やバス旅行での外食、月2回の調理実習を計画したり入居者と施設畑で育てた野菜を食する喜び、一緒に準備をするなど、食事が楽しみなものになるよう工夫を凝らし入居者も積極的に参加できている。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人に合わせてよく工夫されていると思います。(家族回答)
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に応じた形態や量加減を調整し旬の食材や自家製の野菜を取り入れ季節感を味わえている。食事・水分増減時は主治医にて補助食やカロリー調整を行いすべての個人記録に記載し、管理を徹底している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケア及び義歯洗浄消毒を行い清潔保持に努める。歯科との連携も十分でその日のうちに治療も可能。口腔全般の状態把握及び早急な対応ができ、口腔ケアについての指導は必要時に受けられる。年回無料検診実施。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との連携もよくできており、一人ひとりにあったケアができています。(民生員回答)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを把握しその人に応じた誘導を心掛けできるだけ布パンツで過ごせるように支援している。間に合わない人には環境的解決策も職員間で話し合い本人は満足している。また、服薬調整にて気持ちよく生活して頂き自立に向けた支援を行っている。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴前に健康状態を確認し、入浴が心身共にくつろげ楽しみに感じて頂けるよう本人の希望時間や回数を考慮しコミュニケーションを図りながら支援している。また、身体状況(傷や打撲等)注意している。また、年1回温泉旅行を実施、入居者には大変喜ばれている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は個々の一日の睡眠や休息パターンを知り、本人の状態を見極め緊張や疲労等その時々で柔軟に対応している。本人にとってストレスのない生活の流れを把握することで心身の安定を図っている。当施設では「分割睡眠」として二度寝を実施している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多々医療機関を抱えるため服薬には慎重な態度で臨んでいる。連携薬局を持ち医療機関同士が共有することで服薬調整ができ当施設担当薬剤師を置くことで職員指導がなされる。知識を身に付け服薬支援と症状変化時の早急な対応が行われている。24時間対応可能。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を活用し本人の生活歴や家族からの聞き込みの中で希望や楽しみ嗜好を知り、できることでの役割をお願いしている。また、個別での外出等で気分転換を図っている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出支援は入居者の意向が反映され職員が安全第一に企画している。入居者の状況に合わせて地域資源を活用し交流の場や遠方への福祉バス旅行はとりわけ人気を呼んでいる。コロナ前は家族との外出支援も積極的に支援していた。	私たちも一緒にバスに乗せてもらって出かけていたころが懐かしいです。また一緒にバス旅行に行けたら嬉しいです。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々がお金を所持し、必要に応じて使える。自己管理できない場合は家族と相談し、施設管理とし、必要に応じて使い、内訳明細書、領収書等で確認、報告をしている。家族は買い物支援に理解を示されている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や大切な人との関係が途切れないように時候ごとにはがきや手紙支援を行い現在はオンライン面会や日々の動画を発信し現在の様子を知らせている。			

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有空間は安全で居心地よい場所となるよう所々に似合った工夫を取り入れ共同生活の場としての空間は入居者の即して築くことで役割を十分果たしている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り個々の思いや願いを聞く場を持ち、その言動や表情などから日々暮らしが意向に沿えるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式（アセスメント）で得た情報を基にケアプランを作成し個別ケアを支援している。また、日々の関わりの中でその変化を見極め支援に繋げている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医（内科・精神科）及び他科との連携にて状況や状態に応じた支援を急変時や検査必要時は適切な医療を受けるための協力医制ができており主治医や訪問からの指導や助言、施設の要等実際のケアや支援に活かされている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員さんが大変良くされていると思います。（包括回答）
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側が決まりや都合で業務を遂行するのではなく自らの希望や行動を尊重し暮らしの中で自信を取り戻し自分のペースで持てる力を発揮できるように支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には生活の継続ができるよう本人が安心して頂けるよう馴染みの物や家具、家族写真や手紙等居心地の良い部屋作りを心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者自身が希望や願いの実現（バス旅行や各行事等）、言葉や意思表示が不十分な方でも、本人の思いをくみ取りながら個々が自ら決定できるように支援している。	家族としては、せっかくだからバス旅行に行ってほしいと思っていたけど、バスに乗ってるだけで疲れるんですね。私が知っている頃の元気な母のままで止まっていた。本人の状態や希望に合わせて考えてくださっているんですね。		

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を活用し本人の生活歴や家族からの聞き込みの中で楽しみや嗜好を知り出来ることでの役割をお願いしている。役割を持つことで感謝や自信、労をねぎらうなど入居者間で良い雰囲気が出来ている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活リハビリを中心に学習療法、園芸療法、レクリエーションに、音楽教室、書道教室、調理実習等を加え個人が好む活動に参加でき生きがいを見出し自分らしさを得ている。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションも多様で素晴らしいと思います。(家族回答)
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で難しくなっているが地区の運動会や防災訓練、地域の皆さんと一緒にロコモ体操等交流の場を広げている。また、施設畑で収穫した野菜を近隣の方にお裾分けし大変喜ばれている。	毎回いろいろな野菜や花がきれいに植えてあって驚いています。きつとご近所さんが喜んでいる姿が嬉しくて一生懸命作るんでしょうね。		
49	総合	本人は、このGHIにいてことで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって施設が生活の場であることを理解し職員及び入居者がお互信頼し、いろんな場面で助け合い、支え合えるような関係が持てることがより良い暮らしにつながると信じ入居者の表情から充実した生活を過ごされていると感じ取れる。	「出来る事は自分で」「出来なくなった人の分は入居者で手伝う」という考え方が気に入っています。本当に、お隣の方のお手伝いしている姿を見て感動しました。	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者も笑顔が多く、充実したケアをされているんだと思います。(包括回答)